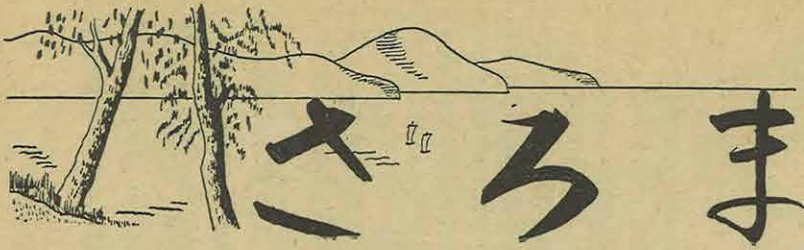


38. 3. 15 発行
 発行人 船木長一郎
 佐呂間町長
 編集人 庶務係
 庶務課 庶務係
 印刷人 佐呂間 印刷
 佐呂間 印刷

世帯数 2,854
 人口 15,328
 男 7,685
 女 7,643
 2 末月日住民登録人口



定例第一回町議会より

昭和三十八年度予算総額は

二億七千八百七十一万四千円

昭和三十八年定例第一回町議会は、二日二十七日開会、昭和三十八年度の各会計予算、各種事業、給与条例の改正、昭和三十七年度



施政の重点事項

一、行政施行の態勢強化

諸施策及び一般行政の施行に当っては、産業経済の発展、各種技術の進歩、文化の向上などに對する近代的行政の確立が要求される現狀に即應して、民主的に、能率的に、しかも効率的成果を収めることは一に職員の資質の向上にあると考へ、各種研修講座の開設により全体的な態勢の強化に務めたい。

二、財政運営について

一般会計予算に対する町税比は僅か一六%で自主財源の乏しい現況に對して、支出の面においては緊急を要する義務施設及び一般物価の昂騰、人件費の増高、住民要望の漸増に處するには誠に憂慮すべき内容であるが、務めて行政費の節減を図り効率的運用に留意して重点施策の遂行に努めたい。

三、教育施設の整備

教育の振興は充實した施設と有能な教職員の配置及び父兄の理解協力がその基幹であり、施設の強化充実に對しては継続事業の完成更に教育施設整備三ヶ年計画に基く教職員住宅については、財源などの関係と経済的施設との関連において住宅公団、教職員厚生資金の借入又は、僻地振興の補助の導入によつて整備致したい。

中学校の統合問題については先般新たに設置された佐呂間町立中学校統合促進委員会において調査研

究に万全を期し、将来の方向を確立致したい。

四、交通網の整備

交通網の整備は産業経済振興と文化向上の根本をなすものであり、本年は保有機械の効果的運用により各支線の改修整備を図りたい。更に国道、地方費道の改良新設については開発計画の伸長と併行した予算の導入に務め各路線の総合的な整備に務めたい。

尚町費河川のうち、トコタン川、富武士川の改修については耕地基盤整備事業により整備を進め、又道費河川については各河川に亘り速かに実施計画の樹立を促進し、特にサロマベツ川については昨年度着工した若佐地区の局部改修工事と計画的なベースに切替、災害関連事業を以つて工事の促進に務めたい。

五、農業振興対策

農業振興対策については、夫々論議検討が重ねられつゝあり更に農業諸団体、農業委員会などにおいても同様考究中でありますが、近時経済の高度成長による他産業との格差是正解消、自由貿易に處する一環として構造改善事業が、国民全体の負担と支援によるものであり、又改善を要望する自主的意見更にその必要を痛感する現実に照し、本事業を強力に推進するものであります。幸い事業費に對する補助の増額措置、補助残融資、単独融資については農林漁業経営構造資金融通制度の創設が確定的であり、今後の課題として流通組織価格安定等の諸対策について各機関の総力を結集した運動を進めることが肝要と存じます。

六、林業の振興について

町内林地の七五%は国有に屬し、その生産は年間二十五万石に達しこの生産販売過程における流動額は六億円をかぞえ、町経済に寄与しつゝありますが最近における業界不振の克服対策として企業の合併経営合理化などの諸施策が必要と考へられますので自主的計画の台頭によつては積極的な協力により林業界の安定に処したい。

七、水産業の振興について

本町の漁業の将来は内海漁業が大宗を占め、適産の帆立漁業については採苗の困又は道官化、さけます養殖施設の誘致などに務め一層漁場の有効利用と漁民経済の発展に務めたい。

八、町有林会計について

町有林の経営に當つては昭和三十四年以來経営案の策定に則り買受林の返済を始め一般会計への繰出し、三五〇町歩に及ぶ造林地の造成撫育を実施し、町将来の基本財産造成に指針的基盤を作りつゝありますが、本年度才二次施業案編成に當り林野の牧野振用も考慮しその林野面積の減少は林質の向上に務めることにより補足する計画を樹立し、両様相俟つて土地の有効利用に務めたい。

九、国民健康保険

会計について

保険思想の普及徹底による医療費は年次増高を示し、現行の税負担では再検討を要すべき時期に到達してありますが、本年度は特に制度改正が行なわれるので、制度運用の結果をまつて本事業の半ば固定的な運営の方針を決定致したい

低位経済農漁家畜産振興対策小
畜導入 ヒナ七五〇〇羽、子豚三
五〇頭 二九二万五千円
貸付牛購入 三〇万円

◎町有林会計

町有林撫育事業
下刈、補植、天然下種補整、野
そ駆除 一八八万六千円
町有林植林事業
知来、栃木、北 一四八万円
林野買受代金償還金 一七一六万四千円

抛出制国民年金

給付第一号
母子年金証書
交付される

昭和三十七年五月より給付がはじ
まりました抛出年金の才一号とし
て町内字知来田中成子三三才さん
にこのほど母子年金証書が厚生省
より交付されました。
田中成子さんは昨年十月三十日夫
秀光(三七才)さんが病死されて
受給権が発生したもので、保険料
の滞納がなく昭和三十六年四月よ
り死亡まで一年七ヶ月保険料(二
人分四千四百五十円)を納付して
ありました。
子供さんが十二才を頭に三人であ
り年金額「二万八千八百円」支給
されることになり、支給期限は未
の子が十八才になる昭和四十六年
までの十年間となつて居ります。

療 育 給 付 保 険

4月1日より

入れ歯など保険給付の対象になります

町国民健康保険では今まで歯科
補てつ(入れ歯等)と大きな病院
へ入院した場合の寝具設備が給付
制限をしていましたが、四月一日
からこの制限が解かれ入れ歯や金
属冠等及び寝具設備が給付される
ことになりました。
これらの給付を受けようとする
者は、国民健康保険被保険者証を
医師や歯科医師に提出して受けて
下さい。
尚歯科補てつについては当分の
間歯科医師との間に給付の取扱に
ついての契約が結ばれない場合も
ありますので、その歯科医師から
は給付の取扱をしてもらえませ
ん。その場合には一応全額支払をし
て給付の内容を記入した領収書を
もつて役場へ療養費支給の申請
をして下さい。

冬季農業講習会開催

例年実施しています冬季農業講
習会を本年も次の要領により開催
しますので多数受講されるようお
しらせします。

日程

三月二十一日、二十二日二日間
会場 佐呂間公民館、若佐公民館

講習科目及び講師

今年の営農技術について

専門技術員 齊藤泰三先生

畜産技術について

専門技術員 松村 宏先生

豆作及び農業経営について

北見試験場長小山八十八先生

今年の天候について

網走気象台長 齊藤博英先生

講習時間割

▽佐呂間会場

二十一日

九時～十二時 松村先生

一時～四時 齊藤泰三先生

二十二日

九時～十二時 齊藤博英先生

一時～四時 小山先生

▽若佐会場

二十一日

九時～十二時 齊藤博英先生

一時～四時 小山先生

二十二日

九時～十二時 松村先生

一時～四時 齊藤泰三先生

筆記用具、昼食を御持参下さい

青協新役員決る

佐呂間町青年団体協議会では、
去る三月十日佐呂間公民館で理事
会を開催し、昭和三十八年度の役
員、事業計画、予算を次の通り決
定しました。

◎青協役員

会長 橋本松三郎(知来)
副会長 富木 清政(佐呂間)

事務局長 渡部 幸子(富木)

会計 島沢 末吉(佐呂間)

単位団々長 土本 健一(佐呂間)

佐呂間青年団長 河井 清治

浜佐呂間 客藤 吉弘

栄 武田 弘通

幌岩青年団長 田口 正治

仁倉 中村 三夫

知来 須佐 清司

富木 相原 正市

若里 平瀬 健一郎

栃木 高瀬 勝久

浪速 海野 国治

◎事業計画

文化部 青年問題研修会 四月中旬

青年大会 十一月中旬

芸能発表大会 十月月中旬

体育部 角力大会 佐呂間六月下旬

キャンプ講習会 八月月中旬富木

体育大会 七月上旬

家政部 料理講習会 四月中旬

産業部 研修旅行 九月中旬予定

◎予算内訳

収入の部

会費 一八〇〇〇円

事業収益 一〇〇〇〇円

助成金 七〇〇〇〇円

繰越金 一七七一八円

寄附金 五〇〇〇円

計 一一一七一八円

支出の部

事務局費 二五〇〇〇円

文化部費 二六〇〇〇円

産業部費 二〇〇〇〇円

体育部費 二一〇〇〇円

家政部費 五〇〇〇円

負担金 六五〇〇円

雑費 六〇〇〇円

予備費 二二一八円

計 一一一七一八円

山火事を出不さい

火入計画をたてましょう

北海道の林野火災は、雪どけと
ともに始まり四月、五月が最も多
く発生しています。
この時期は暖かい南風が強く吹
き乾燥した日が続くので気象状況
からみても最も危険なときです。
林野火災の原因のほとんどが、
ちよつとした人びとの不注意から
起きています。特に造林、畠のご
み焼、採草地改良などの火入がも
とで発生している林野火災は全体
の五〇%を占めています。
昨年本町における火入件数は八
〇件余りですが、このうち四月、
五月に全体の約七〇%が最も危険

な時期に火入を行つております。
火入はできるだけ危険期をさけ
人手のあいている時期にするよう
今から火入計画をたて、火入から
起こる林野火災を防ぎましょう。

町内各小中学校
卒業式日程

町内各小中学校の卒業式が次の
日程により行なわれます。

ことしの卒業生は、小学校が町
内十一校で四六八名、九年間の長
い義務教育を終えて新しい職場に
就職するもの、或は上級学校へ進
学する中学卒業生は四一八名とな
つております。
卒業式には父兄は勿論みんなで心
から卒業を祝つてあげましょう。
各学校卒業式は次のとおり

三月十七日 若佐中学校

三月十八日 佐呂間中学校

三月十九日 浜佐呂間中学校

三月二十日 知来小中学校

三月二十日 若里小中学校

三月二十日 若佐小学校

三月二十日 栃木小学校

三月二十日 佐呂間小学校

三月二十日 栄小学校

三月二十日 浪速小学校

三月二十三日 仁倉小中学校

三月二十三日 富木小中学校

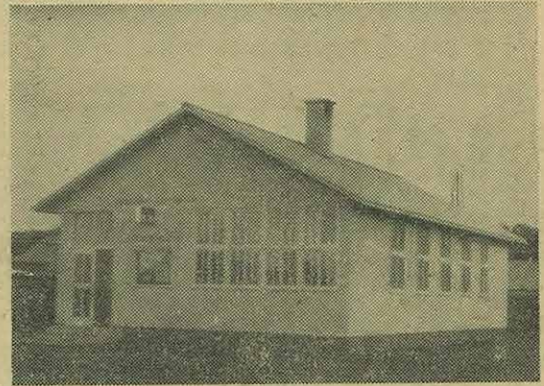
三月二十三日 幌岩小中学校

「浜佐呂間郵便局」に

四月から局名が変わります

下佐呂間郵便局が四月一日から「浜佐呂間郵便局」に局名が変わります。

昭和三十年四月に字名改正があり、現在の浜佐呂間に字名が変更されましたが、駅名や局名が従来の下佐呂間になつていて、いろいろと不便がありました。本年四月一日より郵便局名が字名と同じ浜佐呂間郵便局に改正されることになりました。



三月の公民館

巡回映画

- 一、番組組
 - ・劇映画 江戸つ子繁昌記
 - ・社教映画 私たちが選ぶ
 - ・ニュース

二、巡回日程

- 三月二十日 〇 内夜間会場 東 会館
- 三月二十二日 (西富公民館)
- 三月二十二日 北 公民館
- 三月二十三日 (富武士小中学校)
- 三月二十四日 浪速 小学校
- 三月二十五日 (梶岩公民館)
- 三月二十六日 (仁倉公民館)
- 三月二十六日 (知来公民館)
- 川西 公民館

三、上映開始時間

- 昼間会場 午後一時より
- 夜間会場 午後六時より

国保被保険者の異動届は

三月三十一日まで

国民健康保険被保険者に異動があつた場合には、十日以内に届出をすることになつておりますが、届出をしない方が多いので今後必ず届出を励行して下さい。今年四月に新しい被保険者証が交付されますので異動のある者は三月三十一日までに必ず届出をして下さい。

犬は必ずつないで

飼いましよう

最近人や家畜に対して野犬による被害が大変多くなりました。これは野犬によるものだけでなく、飼犬を放し飼いにしているため野犬や飼犬が集まつて人畜に多くの被害を出している場合があります。犬は元来一匹では悪いことは

しないが、多く集まるといたづらをする習性をもつております。町では畜犬を飼つていない人に対して、畜犬を放し飼いにしないように条例を定めておりますので、犬を飼つていない人は必ずつないで飼うか、又は金網の網子に入れて飼うようにして下さい。

なお町では、年間一定の期間を定めて野犬の殺処分を行なつておりますので放りやうしてある畜犬については、殺処分される場合がありますので、この点については充分注意して下さい。

国民年金保険料納付組織優良団体の表彰さまる

昭和三十七年四月より国民年金保険料の納入を納税貯蓄組合で取扱つていたやうにありますが、現在百組組合の内五十八組合がその取扱をしております。このような保険料納付組織で成績優秀な団体に対し北海道国民年金協会より表彰がなされることになりましたが、町内から「富武士漁業協同組合納税貯蓄組合」が選ばれて表彰されることになりました。

た。表彰式は三月十二日午前十一時より札幌グランドホテル二階に於て行なわれます。

なお本年度の表彰基準は被保険者が六十名以上で、国民年金の加入と保険料の納入成績が優良な団体とされております。富武士漁業協同組合は被保険者百三名で加入率納入率ともに百パーセントに達しているよい成績でした。



御出産おめでとう

- (父の名)
- 久米としえ 勝良 北
 - 北原知幸 静男 若佐
 - 遠藤健二 正治 若里
 - 大西由美子 勝 西富
 - 杉野智寿子 修一 西富
 - 杉山幸範 正弘 浜佐呂間
 - 中里みどり 定吉 仁倉
 - 吉野明美 久男 仁倉
 - 榎本英子 信一 永代町
 - 滝口典子 一徳 若里
 - 本田 浩 武千代 梶岩

あなたの一票で

明るい社会を

佐呂間町選挙管理委員会

御結婚おめでとう

- 槽林定夫 梶岩
 - 鈴木智枝子 梶岩
 - 橋本日出男 若里
 - 高橋トキ子 遠軽町
 - 山田文夫 幸町
 - 武田ケエ子 幸町
 - 水上輝雄 西富
 - 伊藤美佐子 滝上町
 - 生地隆典 西富
 - 渡辺ミチエ 浜佐呂間
 - 森孝夫 西富
 - 平間菊枝 白糠町
 - 十亀好治 共立
 - 直井梅子 若里
 - 松下秀夫 栄
 - 佐久間妙子 湧別町
- お悔み申し上げます
- 矢吹卯吉 若里
 - 徳武みよちよ 浜佐呂間
 - 佐藤良八 永代町
 - 津田なおい 仁倉
 - 垂水次郎吉 啓生

「広報「さるま」は、町政のいろいろなことを知つていただくため、毎月一回発行し、自治会長を通じて全世帯に配付しております。みよさし建設的な御意見や質問は庶務課へお寄せください。